

日本災害看護学会先遣隊 令和6年能登半島地震活動報告

2024年1月26日(金)、27日(土)

活動隊員：佐藤美佳、金谷雅代

1. 活動日時

2024年1月26日(金) 0:00～ 1月27日(土) 10:00

2. 活動場所

珠洲市立大谷小中学校(珠洲市大谷町1字78番地)

避難所使用者数 46人 自宅避難 2人

3. 被害状況(石川県:1月26日 14時現在)

人的被害:石川県死者 236人(うち珠洲市 99人)

住家被害:建物全壊、半壊、一部損壊あわせて 4645棟

4. 天候 曇り一時雪 最高気温 4℃ 最低気温 2℃

(避難所内 温度:21.1℃ 湿度:50%)

5. 活動の実際

0:00 ラウンド、トイレ清掃・確認

4:00 ラウンド、トイレ清掃・確認

5:40 湿布貼付対応

6:00 起床者に順次ホットタオル配布、トイレ清掃・確認

7:00 ラウンド、トイレ清掃・確認

7:30 多目的トイレ前に手洗いセット設置

8:00 朝食、保健医療福祉調整本部のZoomミーティング

各支援団体から予定や状況報告・共有

9:00 要支援者の更衣・清拭

更衣室(ファミリールーム)を体育館後方に設置

9:30 換気、ストレッチ、マスク交換の声掛け、含嗽の説明、下着到着のお知らせ、  
個室へ下着配布

10:30 物資の配布と説明(使い切りパックのシャンプー・コンディショナー、化粧  
水・乳液セット等)

11:00 健康状態確認

12:00 昼食

栃木県警訪問(避難所サブリーダー対応)

13:00 環境整備

ホイッスルの提供を受け、配布

13:30 環境整備、トイレ清掃・確認

13:50 テレビ体操(ストレッチ、ラジオ体操第一)、換気

- 14：40 健康状態確認
- 15：40 石川県知事訪問
- 16：30 環境調整、爪切り、カイロによる低温熱傷に対する処置
- 17：30 発熱者あり、様子観察対応
- 18：00 夕食
- 18：30 保健医療福祉調整本部の Zoom ミーティング（接続不安定で途中退出）
- 19：00 避難所スタッフミーティング
- ・ 本日より千葉県庁チームが第7陣に交代（4人）
  - ・ 1/27（土）1世帯2人が1.5次避難所へ移動予定
  - ・ 1/29（月）3世帯4人が1.5次避難所へ移動予定。荷物は1つまで、長時間の移動に備え、不安な人には紙おむつ着用を勧める
  - ・ 2次避難の日程は1/29（月）または1/30（火）か未定。1世帯2人のキャンセルがあり、19人が移動する
  - ・ 来週避難者人数が20人程度になったらランチルームで食事をする
  - ・ 本日石川県知事、珠洲市長の訪問あり。避難所リーダーおよび上田校長との対話および校庭の視察（仮設住宅建設予定地か？）を行った
  - ・ 1/27（土）11時～簡易シャワー・五右衛門風呂設置予定
  - ・ 14時に社会福祉協議会からの迎えで、自衛隊の入浴支援に出かける（5人）予定
  - ・ 1/27（土）昼、市内の「ぶどうの木」の炊き出し予定
  - ・ 1/28（日）炊き出し予定
- 20：00 要観察者の更衣介助（オムツ交換）
- 21：00 消灯、環境整備
- 発熱者検温、発汗多量のため更衣介助
- 24：00 ラウンド、トイレ確認
- 要観察者の検温
- 1/27（土）
- 4：00 ラウンド、トイレ清掃・確認
- 5：40 発熱者検温（解熱し症状なし）
- 6：00 起床者に順次ホットタオル配布
- 6：50 次グループ到着
- 8：00 朝食、要配慮者への配膳確認
- 8：30 引継ぎ
- 10：00 終了、挨拶

## 6. 考察

### 【利用者の健康面】

本日は天気が回復したので、一時自宅に帰る避難者が多かった。停電・断水が続いている自宅での作業の後、頭痛・咽頭痛を訴えた人が発生した。避難者には疲労も蓄積し、免疫力低下も考えられ、一層の健康管理が必要になる。夜間咳嗽のある人が見受けられるため、ストーブ使用時に湯を沸かし湿度調整を図り、適宜含嗽を促していく必要がある。

寒さが厳しいため、使い捨てカイロの利用が多い。カイロを皮膚に近い肌着の上に長時間貼用し、低温熱傷が発生した。カイロ使用時の注意点を伝えていく。

活動最終日の朝、認知症高齢者男性のオムツ交換を避難所リーダーより依頼され、両下肢の浮腫と大腿後面の静脈怒張を発見した。独居の方で付き添い者もなく、日中は活動的で、自力で歩行も可能であり、自家用車を運転している。やせ形であり、幅の広いズボンを着用しており、また疼痛の訴えもなく、下肢の浮腫も気が付かなかった。今回発見した内容について、次のメンバーに申し送りをし、下肢の詳細な観察を行うと共に、毎週水曜日に予定しているPWJの往診での対応を提案した。

認知症高齢者は症状の訴えが少ないため、こちらから積極的にアプローチする必要がある。また、避難所生活の長期化に伴い、DVT発症の危険性を踏まえ、下肢の観察、水分摂取の励行および、下肢の運動の強化が必要だと考える。

### 【避難所環境】

本日多目的トイレ前にも手洗い用ポリタンクを設置した。排泄後の手指衛生を図り、感染症防止策として手洗いを勧めていく。

下着、肌着が物資として届いた。下着の着替えができるように、ファミリールームを更衣室として利用できるように設置し、避難者にも周知した。安心して更衣ができるものと考えられる。

## 7. 参考写真



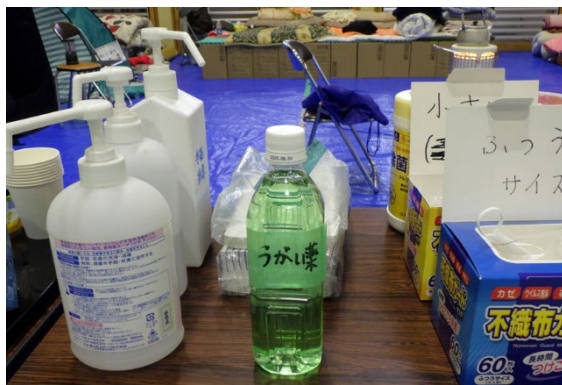
下肢中心のストレッチ



下肢中心のストレッチ



更衣室の設置



うがい薬の設置



多目的トイレ前の手洗い設置



知事の視察